

ボランティア情報

2022
5月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ぼらぶら 休業日

日	曜日	催し物
1	日	
2	月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
7	土	おもちゃ病院 ▲ パソコン定期相談 ●
8	日	
9	月	BANBAN しゃべろう会 ■
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
14	土	
15	日	
16	月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
17	火	
18	水	
19	木	市民活動センター 休館日
20	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
21	土	おもちゃ病院 ▲ パソコン定期相談 ●
22	日	
23	月	BANBAN しゃべろう会 ■
24	火	ファミサポ交流会 ●
25	水	
26	木	
27	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
28	土	きょうだい会 ふたつぼくろーバー ■
29	日	
30	月	コミュニケーションマージャン体験 ▲
31	火	

コミュニケーションマージャン 体験会

一つの牌（パイ）がたわしサイズのコミュニケーションマージャンは、2人1組になって「頭」「身体」「口」を動かしながら、和気あいあいと皆で楽しめるレクリエーション素材として人気を集めています。「昔好きだったマージャンで、健康維持ができたらいいな！」「今度地域のふれあいサロンでやってみたいけど、ルールがわからない・・・」この体験会では、そんなコミュニケーションマージャンに興味のある方を対象に、コミュニケーションマージャンの楽しみ方の説明から実践までを体験することができます。家族や友人を誘って、お気軽にご参加ください。

- 日 時：毎月第1・3・5月曜日 10:00～11:30
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 主 催：みきコミュニケまあ～雀「にこにこ」
- 申込・問合せ先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

～なおったら もうけもの～ みきおもちゃ病院

セカンドライフ応援講座「おもちゃドクター養成塾」を修了したボランティアで「三木おもちゃ病院ドクターグループ」が結成され、病院を開設しています。

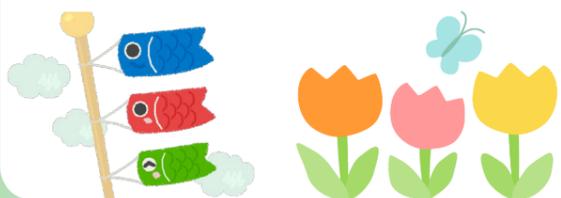
- 開院日：5月7日④、5月21日④ 10:00～12:00
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合せ先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090



チームICT パソコンの定期相談会

チームICTは、市民活動センター施設サポーターとして登録しているサポーターです。パソコンで資料が作りたい。写真を取り込みたいなどご相談ください。

- 日 時：毎月第1・3土曜日 10:00～12:00
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合せ先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090
- * 申込不要
- * 一緒に活動して下さる方を募集しています。



(発行)
三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみき
〒673-0403
三木市末広 1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp

5

Vol.294
2022.5.1

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

ボランティア・市民活動情報「マガジン」は、ボランティア活動プラザみきのホームページからでもご覧いただけます

ホームページ
QRコード →



2022年度 みきボランティア活動記章 贈呈者募集

みきボランティア活動記章とは、市民が継続した善行活動に対し感謝するとともに、これからも活動が継続する励みとなる記章として三木市社会福祉協議会が贈呈するものです。



応募受付期間

【2022.5/7(土)～6/11(土)】



* 贈呈対象者

善行活動を行っている個人に贈呈します。
団体・グループの構成員、企業・事業所の職員も含まれます。

* 贈呈条件

1. 行っている活動が広く一般社会の利益となる公益活動である。
2. 自分自身の活動歴が5年以上ある。
3. 現在もそれらの活動を継続している。

* 記章の種類

活動歴に応じて応募できる種類が変わります。

- 5年以上10年未満…銅 記章
- 10年以上15年未満…銀 記章
- 15年以上 …金 記章



* 応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入し、ご自身で応募していただきます。
推薦・他薦による応募は受け付けていません。
※記章は、7月に発送にて贈呈させていただきます。
※応募の受付は窓口のみとなります。
ボランティア活動プラザみき、よかわステーションで受付します。

記章贈呈は、明るい豊かな地域社会づくりのために取り組まれている善行活動者への感謝と共に、それらの取組みが広がり、共に支えあうコミュニティづくりを目指しています。

記章贈呈者には、贈呈者名簿や贈呈者の「活動をする上で大切にしていること」を掲載したパンフレットを記章とともにお渡しをしています。これまでの自身の活動の振り返りや明日からの活動への励み、そして新たな発見や気づきの機会につながることを願っています。

* 応募用紙は、マガジン郵送先には5月号のマガジンに同封して郵送します。
また、5月より各公民館、交流センター、市民活動センターに配架する予定です。



詳しくは、ボランティア活動プラザみき (☎ 0794 - 83 - 0090) までお問合せください。

じか
直に話すと盛り上がる！ 地域のはなし
地域支えあい協働会議で見つかるワタシの取り組み

◆ 話し合いをベースに地域を考える「地域支えあい協働会議」

4月20日、自由が丘地区で「第4回地域支えあい協働会議」が開催されました。主催は自由が丘市民協議会（担当：暮らし・生活部会）で、住民一人ひとりが自分たちの地域に関心を持ち、力を出し合ってよりよい地域をつくるため、毎年話し合いを重ねています。今回のテーマは「地域で安心して暮らすための高齢者の移動を考えてみよう！」。昨年度、地区内で実施された「住民の外出状況把握のためのアンケート」の集計結果も踏まえ、移動や外出に関して思うところを出し合いました。



◆ 住民だから感じることを、ざっくばらんに率直に

参加者は全部で52名。当日参加の方も続々と来られ、この会議に対する皆さんの関心の高さや話し合いへの熱意を感じました。グループにわかれ、アンケート結果や地区内の移動手段を示したマップを手掛かりに話し始めると、高齢者にとっての移動のしづらさがいろいろと見えてきます。バスに乗ってお出かけしたくても「行き先表示や時刻表が分かりにくい」、「ステップが高くて乗り降りしづらい」、「バス会社に要望してもっと乗りやすく・・・」など、住民目線で様々な課題が出ました。

一方で、地区内には路線バスとは別に『ニコニコバス（地域ふれあいバス）』が走っていることや、ドア・ツー・ドアで買い物に行ける『買い物行こカー』、車いすを使っても送迎してくれる『ありがとう送迎（福祉有償運送サービス）』があることなど、それぞれが知っている情報を出し合う場面もありました。

どれも一度はチラシなどで目にする機会があった情報でしたが、意識しなければ簡単に通り過ぎ「知らない」になってしまうこと、直接話し合うことで得られるものが真に生きた情報になることがわかった瞬間でもありました。そのうえで、参加者自身もいつかはやってくる免許返納の時を見越して、今のうちからバスに乗ってみたり、時刻表を手にとってみることでできそうだ、など次につながる意見が出て、大いに盛り上がりました。



◆ 「すぐにも出来ること」から始まる地域づくり

地域の現状を話し合うとき、行政や企業など他者に要望したり解決してもらいたい課題で盛りだくさんになることがあります。様々な主体が関わることで、多方面からの取り組みが期待できますが、相手任せになりがちです。地域支えあい協働会議は住民自身が明日からすぐにでも出来ることを考え、やってみるといふアクションを生み出す場でもあります。地域づくりは「我が事」と捉える人が増えるほどに加熱します。住み慣れた地域で長く、豊かに暮らしていくために、あなたのまちでも「地域支えあい協働会議」で地域づくりの熱量を上げていきませんか？

助成金情報

名称（申請等の期間）	助成内容	問合せ・申込先
令和4年度 ふれあいサロン事業 〔受付期間〕 4月1日～6月30日	高齢者、障害のある方などが地域でいきいきとした生活を送ることができるよう、地域住民が自主的に設置・運営するサロン活動に対して経費の一部を助成します。 〔助成対象団体〕 三木市を拠点として活動し、構成員が5人以上、三木市から別の補助金や委託金等をつけていない団体 〔補助金額〕 基礎補助金（上限）48,000円 補助対象となるサロン利用者数、開催回数に応じた加算があります。	三木市健康福祉部福祉課 電話 0794-82-2000(代) 申請書の配布場所 ・市役所福祉課 ・吉川支所 ・市立公民館 ・市民活動センター ・市ホームページからもダウンロードできます。 https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/24/14090.html
令和4年度 自発的活動支援事業 〔受付期間〕 5月6日～6月30日	障がい者および障がい児が自立した日常生活を営むことができるよう、障がい者およびその家族への支援を行う団体に対して経費の一部を助成します。 〔助成対象活動内容〕 ①ピアサポート活動支援…当事者とその家族の交流活動を行う事業 ②災害対策活動支援…障がい者等の災害対策活動を行う事業 ③孤立防止活動支援…声掛けなどの見守り活動を行う事業 ④社会活動支援…障がい者等の自立のために社会に働きかける活動 ⑤ボランティア活動支援…障がい者等に対するボランティアの養成や活動 ⑥理解促進啓発研修…地域住民等への啓発及び研修を行う事業 〔補助金額〕 補助対象経費の総額（上限5万/年）	三木市健康福祉部 障害福祉課 電話 0794-82-2000(代) 市役所3階障害福祉課または市ホームページで公開されている募集要綱を確認し、必要書類を提出。 https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/26/32301.html

Vol.1

きらっとさんにインタビュー

三木市には、周りの人を惹きつけ、きらっと輝く活動者さんがたくさんいます。そんな「きらっとさん」に活動のあれこれをお聞きます！



第1回目のきらっとさんは渡部和子さんです。ボランティア活動を始められたのは、お子様が幼稚園に入って時間ができた時、これまでお世話になってきた地域に何かお返しができないかと考え、朗読ボランティアに参加したことがきっかけだそうです。

30年以上もの長い間活動を続けてこられて、変わらずにある思いを教えてください。
渡部:ボランティア活動は結局のところ、自分のためになっているんです。対象の方の役に立つことで喜びをもらっている。子どもたちから元気をもらったり、桜には夢をもらったり、いただけるものがたくさん。

広野小学校区子ども見守り隊、チャイルドシート市民ネットワーク、お花し友の会、アクティブ美輝、うすずみ桜想会など、たくさんの団体で活動をされている渡部さん。その行動力の秘訣を伺いました。

同じボランティア活動者にエールをお願いします！
渡部:色々なことがあるけれど、いいところだけを思い出し元気をもらって、頑張ってほしい。

渡部:何か役に立ちたいと思っていた時にいい機会が与えられました。わたしにできるかな?という心配もあるけれど、頑張ってみようという気持ちが勝るんです。

穏やかでいて力強い渡部さんの佇まいは、共に活動するメンバーにも安心感を与えていると感じます。グループ内で心掛けていることって何ですか？

渡部:中学時代から長くバレーボールを続けていたんですが、みんなでボールを拾って繋ぐチームプレーが好き。活動でも一人が引っ張るのではなく、みんなが活躍できるように。そうして共に喜びを得て、分かち合えるように努力しています。

そんなグループ内の雰囲気、その先にいる対象者の方にも伝わっていることでしょう。

いつもプラス思考で、包み込んでくれるような空気をお持ちの渡部さん。「今日も一日行ってきて良かったという気持ちが毎日ある。」とおっしゃっていたことがとても印象的でした。

